

令和2年 死亡災害の概要

令和2年7月31日(暫定値)
静岡労働局

第1表 月別発生状況

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
30年	2	5	3	2	1	4	4		4	4	3	1	33
31年	1	1	4		1	1	2	1	2	1	3		17
2年	5			2	1	3	2						13

第2表 業種別発生状況

年	製造業	建設業	運輸業	農林	商業	その他	合計
30年	7	11	2	2	5	6	33
	1	1	1		2		5
31年	5	4	1	1	2	4	17
	1		1		1		3
2年	1	5	2	1	1	3	13
		2					2

下段は、交通労働災害（道路交通法適用の死亡者数（内数）を示す。）

第3表 署別発生状況

年	三島	沼津	富士	静岡	島田	磐田	浜松	合計
30年	4	6	4	5	3	2	9	33
	1	1	1				2	5
31年	1	2	2	4	2	1	5	17
			1			1	1	3
2年	1	1		1	7	1	2	13
					2			2

下段は、交通労働災害（道路交通法適用の死亡者数（内数）を示す。）

第4表 事故の型別発生状況

事故の型	30年	(構成比)	31年	(構成比)	2年	(構成比)
交通事故(道交法適用)	5	15.2%	3	17.6%	2	15.4%
墜落・転落	6	18.2%	4	23.5%	1	7.7%
はさまれ・巻き込まれ	4	12.1%	3	17.6%	1	7.7%
崩壊・倒壊	3	9.1%	2	11.8%	2	15.4%
激突され	3	9.1%			3	23.1%
飛来・落下	1	3.0%	1	5.9%	2	15.4%
有害物等との接触	1	3.0%			1	7.7%
感電			1	5.9%		
破裂						
転倒						
激突						
交通事故(上記以外)						
切れ・こすれ						
高温物との接触	3	9.1%				
火災	1	3.0%	1	5.9%		
爆発	2	6.1%				
その他	4	12.1%	2	11.8%	1	7.7%

注:人数(構成比)は、30年は確定値、31年、2年は2年7月末現在